

## 1. 活動の概要

6月30日(金)、大田市立志学小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。学習内容は「奈良時代と奈良の大仏」で、体験活動は「大仏パネル」を行いました。

はじめにワークシート「大仏クイズ」を行い大仏の基本的なことについて学習しましたが、授業では古墳時代までしか学んでいなかったため、クイズが難しかったようです。

次に解説パネルで大仏についての学習し、同じ鑄造技術で作られる「銅鐸」の模鑄品や出雲市三田谷遺跡出土の「和同開珎」の実物を見ながら、古代の技術についての学習を深めました。

最後に「大仏パネル」を実施しました。児童の人数が3人で非常に少ないなか、みんなで協力して、時間はかかりましたが、完成させることができました。

## 2. 活動の様子 体験活動「大仏パネル」



## 3. 子ども塾を終えて

### 1)児童の皆さんから…

- ・大仏を最後まで作れたことが心に残った。
- ・奈良の大仏が大きかったこと。
- ・大仏のことについて、まだ知らないのもっと知りたい。
- ・どうして大仏の服は垂れているのか知りたい。
- ・本物の大仏を見に行きたいと思った。

### 2)担任の先生から…

- 大仏パネルを通して、実際の大仏の大きさを理解できた。
- クイズを通して大仏のことを学ぶことができ、分かりやすかった。
- 銅鐸の模鑄品や和同開珎の実物を見ることができたのがよかった。

### 3)古代文化センターから

授業では古墳時代に入ったところのことだったので、まだ授業で取り上げていない時代の内容であったため、ワークシート「大仏クイズ」も難しかったようです。説明パネルや「銅鐸」模鑄品、実物資料「和同開珎」を見ることができたので、古代の技術の高さに驚くとともに、興味関心も高まったようでした。

体験活動の大仏パネルでは、非常に少ない人数ながら、3人で協力しあって、時間はかかりましたが、見事に完成させて、大仏の大きさを体感することができたかと思います。